シラバス（地歴科）【ホームページ・ガイダンス用】

科目名	日本史発展	学年	3	使用教材	教科書	詳説日本史B	山川出版社
		必履修の別（必・選必・コース選）	選必		副教材	最新日本史図表 チェック＆演習 日本史B	第一学習社 数研出版
学科	全学科	単位数	2				
系統科目	世界史A（1年必・2単位）日本史B・地理B（2・3年選・2単位）、世界史発展・地理発展（3年選・2単位）						

【学習目標】

1 我が国の歴史の展開を世界史的視野に立ち，日本を取り巻く国際環境などと関連付けて考察させる。

2 歴史的思考力を培い，国民としての自覚と国際社会に主体的に生きる日本人としての資質を養う。

3 日本史の基礎・基本を系統的且つ分野別に理解できる技能を習得させ、大学受験に対応できる能力を涵養する。

【学習方法のポイント】

○ 2・3年で継続履修している「日本史B」の応用編です。古代から振り返りながら、大学受験対応力を身につけます。

○ 「いつ」「どこで」「誰が」「何を」「どのように」「なぜ」やったか(5W1H)を意識して学習すると、理解し易いです。

○ 授業は週に2回しかないので、授業前に教科書を読んで予習、授業後にプリント問題で復習して下さい。

【学習評価と観点】

○ 次の4つの観点に基づき、学習内容のまとまりごとに下記の評価マトリクスにより評価を行い、学年末に5段階の評定に総括します。

①関心・意欲・態度	○日本史の展開に対する課題について関心を強めているか。 ○意欲的に課題を追求する態度や客観的に考察しようという態度を身につけているか。 ○国際社会の一員として、主体的に行動し責任を果たそうと考えているか。
②思考・判断	○日本史に関する課題を自ら見出し、それを総合的な観点から考察しているか。 ○国際的な社会の変化を考慮に入れ、その課題を客観的に判断しているか。
③表現・処理	○日本史に関する諸資料を様々な媒体を利用して収集し、有用な情報を主体的に選択・活用しているか。 ○追求し考察した過程や結果を、様々な方法を用い適切かつ論理的に表現できるか。
④知識・理解	○日本史の基本的な事柄を、世界史的な視野に基づき理解し身につけているか。

評価方法／観点	①	②	③	④	備　考
学習状況観察	◎	―	―	―	自己評価の実施
ノート・ワークシート	◎	○	○	○	訂正ノートを含む
課題レポート等	○	◎	○	―	長期休業中の課題を含む
単元テスト等	―	○	○	◎	毎授業で重要語句テストを実施
定期考査	―	○	◎	◎	中間・期末（1，2学期）

※表中の◎は観点の中でより重視するところです。

○ 学習の記録簿を活用しすることで、自らの学習状況をチェックし、目標達成に努めましょう。

【定期テスト範囲（目安）】※追加・変更することもある。

			教科書（単元）	備　考
学期	1学期	中間	第1章 日本文化のあけぼの～第4章 中世社会の成立	
		期末	第1章 日本文化のあけぼの～第7章 幕藩体制の展開	
	2学期	中間	第1章 日本文化のあけぼの～第9章 近代国家の成立	
		期末	第1章 日本文化のあけぼの～第11章(2)冷戦の開始と講和	第12章以降は授業で単元テストを実施
	3学期	学年末		

【学習サポート】

○ 随時、学習相談を実施しています。学習方法に関することや授業でわからなかったところなど放っておかず必ず質問に来て下さい。求めよ、さらば与えられん。